

事業所名

ハビリテーリングセンターvivre・児童発達支援

支援プログラム

更新日

7年

6月

1日

法人（事業所）理念	私たちは、社会福祉事業の責務を自覚し、誠実な行動を通じて質の高いサービスを地域社会に提供することにより、安心して豊かな福祉社会の実現に貢献します。						
支援方針	未就学児の重症心身障がい児を対象に、集団療育や個別療育を通して遊びの中で日常生活における基本動作や心の発達を手助けし、就学へ向けての集団生活に慣れるための支援を行います。看護師が常駐し、医療的ケアも行います。単独通所のためご家族のレスパイト（休息）としての役割も担っています。						
営業時間	9時	30分から	15時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	日々の健康状態の把握、生活習慣や生活リズムの形成、個々に必要な医療的ケアの提供（経管栄養・胃瘻からの注入、吸引等）感染予防などを行い、安定した通所ができるように支援していく。利用児が心身ともにリラックスして過ごせるための環境を整備する。					
	運動・感覚	機能訓練士による個別訓練の実施。（立位訓練、歩行訓練、姿勢やポジショニング、マッサージ、吊り具を用いた粗大運動等）。感触遊びを通しての感覚過敏の軽減を図り、また様々な遊びと経験を積み重ねることで、心身の発達を促していく。毎朝体操を行い、活動へ向けての準備やリラックスした状態で療育に参加ができるようにしていく。					
	認知・行動	朝のあつまりや生活リズム（食事の時間、午睡、おやつ）を一定にルーティン化させることで見通しを持てる支援を行う。様々な活動（屋内・戸外）を通して五感を刺激し、身近なものに触れる経験を重ねる。遊びや活動の中で楽しみながら色や形、物の名前等の認知を促す。スケジュールや活動の理解と認知が出来るように、場面の転換前には現物や絵カードを提示し伝えていく。					
	言語 コミュニケーション	表情や動作をくみ取り、気持ちを代弁し受容と共感をすることで自己表出の意識を高めて情緒の発達を促していく。現物や絵カードを提示し好きな遊びやおもちゃ等を自己選択・自己決定できるように働きかける。行動や物、事象を言葉と結びつけることで、その意味の理解につなげていく。					
	人間関係 社会性	職員とたくさん触れ合い声を掛けて関わっていくことで、信頼関係や愛着の形成を行う。お友達の輪の中で過ごすことで、他者を意識出来るようにしていく。事業所内の他事業（生活介護・放課後等デイサービス）の利用者児や職員と関わることで、様々な人と関わり過ごす楽しみを知っていく。					
家族支援	日々の利用やモニタリングでご家族と対話し、悩みや不安を共有する。	移行支援		家族への情報提供や意向の確認。特別支援学校や併用事業、相談専門員との連携を図り情報共有を行う。			
地域支援・地域連携	地域との関わりや関係機関との連携を図り、安心して地域生活が送れるように環境作りを行う。	職員の質の向上		全体会での研修（2回/年）、リーダー会での研修（毎月）、外部研修、法人内研修			
主な行事等	お誕生日会・夏祭り・外出（公園や散歩・ショッピングセンターでのお買い物・お花見）・クリスマス会・書き初め・親子交流会・その他季節の催し。						